

期	前期Ⅰ(小学校1・2年)	前期Ⅱ(小学校3・4年)	中期(小学校5・6年, 中学校1年)	後期(中学校2・3年)		
発達段階	自己肯定感・自己有能感が大変優勢であり, 自尊感情も, 愛情優先で高く育まれる時期である。		自我同一性が芽生え, 理想と現実の狭間で, 育まれてきた自尊感情も低下傾向を示す。思春期特有の心理的不安も見られ, いわゆる自分探しの時期である。	思春期も後期となり, 理想と現実の自分がある程度客観視でき, 自己概念, アイデンティティもほぼ確立し, 自己選択・決定・実現を図れるようになる時期である。		
学びの段階	基本となることから, 繰り返し反復しながら習得させ, 確実に定着させる時期である。		身につけた基礎となることから, 様々な場面で活用しながら定着させていく時期である。	基礎基本となることから, 自らの課題に応用しながら自己実現を図る時期である。		
めざす子ども像	中学校区	<b>学校や地域を愛し, 賢く強く生きる子ども</b>				
	課題	<p style="text-align: center;"><b>笑顔であいさつ 日本一</b></p> <small>鷹取中学校区小中一貫教育推進協議会</small>				
あいさつの段階	<b>家庭・仲間とつなぐ</b>		<b>地域とつなぐ</b>	<b>社会とつなぐ</b>		
	<p><b>家庭や学校で大きな声であいさつができる。</b></p> 「おはようございます」 「いただきます」 「ごちそうさまでした」 「行ってきます」 「ただいま」 「おやすみなさい」	<p><b>学校や登下校中に大きな声であいさつができる。</b></p> 登校中, 「おはようございます」 下校中, 「こんにちは」 学校で, 「おはようございます」 「こんにちは」 「さようなら」 「お願いします」 「ありがとうございました」と言える。	<p><b>時と場に応じて, 地域や学校で気持ちの良いあいさつができる。</b></p> ○校舎の外では, 大きな声であいさつを行う。 ○校舎内では, 目上の人には立ち止まり会釈し, 相手に聞こえる声であいさつを行う。	<p><b>社会に出て通用する, 気持ちの良いあいさつができる。</b></p> ○校舎の外では, 時と場に応じて気持ちのよいあいさつを行う。目上の人には立ち止まり会釈し, 相手に聞こえる声であいさつを行う。 ○校舎の中では, 来校者に対しては, 立ち止まって会釈し気持ちの良いあいさつを行う。		
取組	あいさつ運動	毎月一七日	○家を出るとき, 帰ったときに, 家の人に大きな声であいさつをする。 ○校門では, 上級生や中学生に大きな声であいさつをする。	○登校班の集合場所では, 友だちや上級生・下級生, 中学生に大きな声であいさつをする。 ○登校中に会った方に大きな声であいさつをする。 ○校門では, 上級生や中学生に大きな声であいさつをする。	○児童会役員は正門に立ち, 中学生(生徒会役員)と合同であいさつを行う。 ○中1は小学生の時の登校班の集合場所であいさつを行う。	○中2, 中3は各小学校の通学路に立ち, あいさつを行う。 ○生徒会役員は小学校正門に立ち, 小学生(児童会役員)と合同であいさつを行う。
		毎日	○交通安全推進委員が, 両小学校校門や小中学校通学路に立ち, あいさつを行う。 ○女性会会員が霞小学校校門で小中学生と一緒にあいさつを行う。		○PTA役員, 保護司, 協助員が小中学校の校門に立って, あいさつを行う。	
		四九一月	○校門で大きな声であいさつを行う。	○相手の目を見て, 校門で大きな声であいさつを行う。	○児童会が4月・9月・1月の月目標に「あいさつをしよう」をかかげ, 5・6年児童が毎朝校門に立ってあいさつをする。	○毎月, 縦割り学年グループであいさつをする。
		毎朝	○校門で大きな声であいさつをする。 ○学級(朝登校した時, 授業のあいさつ, 下校する時)で, 大きなあいさつをする。	○相手の目を見て, 校門で大きな声であいさつをする。 ○学級(朝登校した時, 授業のあいさつ, 下校する時)で, 相手の目を見て, 大きなあいさつをする。	○5・6年の委員会が, 週ごとに交代しながら, 毎朝校門に立ってあいさつをする。	○部活動ごとに, 交代しながら, 毎朝校門に立ってあいさつをする。 ○生徒会執行部・各種委員会ごとに, 曜日を決めて生徒玄関に立ってあいさつをする。
		地域との連携	○青少年育成協議会(霞学区, 光学区)であいさつの協力を願う。 ○交通安全推進員の方にあいさつの協力を願う。 ○小学校の教頭が, 毎月各学年の下校時刻を示したプリントを交通安全推進員へ配布。 ○懇談会, 学級通信等を利用して, 保護者に家庭でのあいさつの協力を願う。 ○小学校の町別地域懇談会で, 中学校区があいさつ運動に取り組んでいることを伝え, 道で子どもにあったときなど, しっかりと声をかけてもらうようお願いする。 ○保護司会で, 地域でのあいさつの状況を聞き, 学校の取組みを知らせ, 地域でのあいさつの協力を願う。			
教科等	指導のポイント	○保護者に協力を願う。 ○大きな声であいさつをさせる。	○地域に協力を願う。 ○相手の目を見て, 大きな声であいさつをさせる。	○児童会, 生徒会の役員に, あいさつ運動の事前打合せをさせ, 登校班集合場所や通学路などで, 出会う相手などを想定し, ふさわしいあいさつの仕方を考えさせる。 ○児童会・生徒会と連携しあいさつ運動の参加率を競わせる。(長期休業中に児童会○生徒会の合同研修を行う。) ○立ち止まってあいさつをさせる。 ○前期児童の手本となるように, 率先して大きな声であいさつをさせる。 ○あいさつが返ってこないときは, 繰り返しあいさつをして, 返答を促すように指導する。	○通学路を通る地域の方に行くように指導する。 ○3年生が, 1・2年生へ参加を呼びかけるなど, 生徒の動きをつくる。 ○4月・9月・1月は小学校と参加率を競う。	
		○すべての教職員が, あいさつの仕方について共通の認識を持ち, 社会人としてふさわしい手本となるあいさつを見せる。				
内容	道徳 生活科	道徳 総合的な学習の時間	道徳 総合的な学習の時間	職場へ訪問学習 チャレンジウィーク 高校訪問・面接		
	○声のものさしの活用 ○大きな声で発表させる。	○声のものさしの活用 ○大きな声でわかりやすく発表させる。	○声のものさしの活用 ○相手の目を見てわかりやすく発表させる。	○声のものさしの活用 ○相手のことを考えてわかりやすく発表させる。		
評価等	○体験学習や体験入学等に行くときのあいさつの方法を小中で統一する。 ○児童, 生徒用のあいさつマニュアルを作る。					
	○あいさつアンケートを作成し, 年度始(4月), 1学期末(7月), 年度途中(11月), 年度末(3月)の年4回実施する。 ○生徒・保護者にアンケートを実施して, 集計し90%以上の肯定的評価を得る。 ○地域の交通安全指導員の方にアンケートを実施して, 90%以上の肯定的評価を得る。					